

SR-538 わが家の安全と防災

- サイズ ……46/4切・13枚(525×379%)
- 用紙 ……特抄ケント紙 73 kg
- 名入スペース ……75×379%
- 名入印刷寸法 ……60×340%以内
- 表紙名入印刷 ……有

■セールスポイント

万が一の災害時の対処法や、その時に備えて日頃から意識して準備しておくべきことを、シンプルなイラストと解りやすい解説でワンポイントアドバイス。六曜や行事、点線の入った広いメモ欄は実用性も十分!



— 12月の裏面に「保存用防災豆知識」入り! —

1

住宅用消火器を設置する

住宅用消火器は、一般家庭で起こりうる小規模の火災を自分で消滅させ、火消し活動の初期段階で火を止め、被害の拡大を防ぐのに有効です。

住宅用消火器の種類

- 水消火器: 水が主成分。油断火や一般の火災に有効。ただし、電気設備や精密機器には使えない。
- 泡消火器: 泡が主成分。油断火や一般の火災に有効。ただし、電気設備や精密機器には使えない。
- 粉末消火器: 粉末が主成分。油断火や一般の火災に有効。ただし、電気設備や精密機器には使えない。
- CO2消火器: CO2が主成分。油断火や一般の火災に有効。ただし、電気設備や精密機器には使えない。

設置場所

- 玄関: 火災発生時に逃げ出す際の足元を確保するため。
- 廊下: 火災発生時に逃げ出す際の足元を確保するため。
- キッチン: 油断火の発生しやすい場所。
- 洗面所: 洗面台の周囲に設置する。

点検方法

- 点検日: 製造日から10年以内。点検日を超えると交換が必要。
- 点検方法: 点検日を確認し、点検日を超えている場合は交換が必要。

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
12	12	2	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		

住宅用消火器を設置する

(※5月:竜巻が起こったら、6月:停電に備えて、7月:津波に備える、8月:駅や電車内でグラツときたら、9月:集中豪雨に注意)
(10月:非常時に持ち出すもの(二次・三次)、11月:エレベーターの中では、12月:地震の時の火災)

乗車中にグラツときたら

2 乗車中にグラツときたら

非常時に持ち出すもの (一次)

3 非常時に持ち出すもの(一次)

災害時に危険な場所・物

4 災害時に危険な場所・物

防災豆知識(12月の裏面)

★災害用伝言ダイヤル

1711の使い方

【保存用防災豆知識】